



# 日本共産党が6議席へ!

## 要求実現・議会改革へ全力をあげます

日本共産党広島市議団  
2月議会・予算特別委員会



### 安芸区市議補選 中石ひとし議員誕生

政務調査費をだまし取ったとして在宅起訴された熊本前議員の辞職に伴う安芸区市議補選で、清潔な政治を訴えた日本共産党の中石ひとし候補が当選。日本共産党市議団は6人に増えました。

新しい力を発揮していっそうがんばります。

2018年新年度予算の一番の問題は、一部企業の優遇と大規模開発事業優先、そして公債費（借金の元利返済額）が837億円にも上ることです。これまでの広島市の身のたけを超えた大型開発事業推進の市政のつけです。その結果、巨額の借金返済が社会保障、教育など市民生活直結の予算を圧迫しています。

新年度予算では  
借金払いが最高額に

新年度では、採算性・必要性がないばかりか、周辺に大規模災害を引き起こす可能性がある広島高速道路5号線のトンネル工事がスタートします。

広島駅北口地域の再開発に続き、今度は広島駅の南口側の2階の高さに広場をつくり、電車の線路を2階に引き込む大がかりな開発工事を始める予算がつけられています。

さらなる大型開発へ

企業立地促進補助金が  
2・5倍

また、各方面から採算性がないと指摘されているアストラムライン延伸工事を始める予算がつけられています。

これまであまりにも高すぎる保険料を少しでも抑えるために出されていた市の一般会計からの補助金を廃止する計画も進めようとしています。そうなれば、保険料は際限なく引き上げられていきます。

環境を整備してきました。その上さらに、民間の土地の売買促進のために、なぜこんなにも巨額の税金を特定の企業に差し出す必要があるのでしょうか。

市民は悲鳴  
国保料、介護保険料値上げ

また、介護保険料が引き上げられ、この制度が始まった時の2倍を超える保険料になります。

これ以上介護保険料・国保料を引き上げないよう、予算の使い方を、社会保障最優先に切り替えていくために引き続きがんばります。

5万社を超える中小企業、小規模事業所を対象とする対策予算は実質36億円です。ところが、わずか23社に46億円もばらまく企業立地促進補助金。その予算規模は昨年の25倍に膨張しました。西風新都などへの企業立地を推進するためといえます。

しかし、ここには、これまで巨額の予算をつぎ込んで広い道路や上下水道など、企業が立地しやすい

